

平成23年3月期 決算説明会

 OKUMURA CORPORATION

平成23年5月13日開催

決算説明会の内容

- 1 挨拶
代表取締役社長 奥村 太加典
- 2 決算及び業績予想の概要説明
代表取締役専務執行役員
管理本部長 平子 高育
- 3 決算及び業績予想の詳細説明
管理本部経理部長 田中 敦史

挨拶

代表取締役社長 奥村 太加典

 **OKUMURA CORPORATION**

決算及び業績予想の概要説明

代表取締役専務執行役員
管理本部長 平子 高育

 **OKUMURA CORPORATION**

連結決算の概要

(単位：百万円)

	22/3期	23/3期		
	実績	予想	実績	増減
売上高	198,493	197,500	192,617	▲4,883
営業利益	864	3,400	3,380	▲20
経常利益	2,237	4,500	4,500	0
当期純利益	651	3,600	3,604	4

OKUMURA CORPORATION

《主なポイント》

- ・ **売上高は予想より4,883百万円減少**
 - ⇒ 個別ベースでは、工事進行基準適用工事の進捗率の低下や当期受注分の売上高減少等により3,831百万円減少
 - ・ 連結ベースでは、連結子会社の奥村機械製作の売上高が減少
- ・ **営業利益は予想より20百万円減少**
 - ⇒ 個別ベースでは、売上総利益が668百万円好転したが、一般管理費は貸倒引当金繰入額の増加等で485百万円増加したため、営業利益は183百万円の増加
 - ・ 連結ベースでは、連結子会社の奥村機械製作が赤字のため、20百万円減少
- ・ **経常利益・当期純利益は予想並の数値**
 - ⇒ 営業外収支と特別損益は、大きな差異なし

OKUMURA CORPORATION

<参考> 受注高（個別）

（単位：百万円）

	22/3期	23/3期		
	実績	予想	実績	前期比
土 木	60,734	60,000	41,505	▲31.7%
官公庁	33,820	44,000	25,720	▲23.9%
民間	26,914	16,000	15,784	▲41.4%
建 築	108,701	115,000	91,336	▲16.0%
官公庁	27,494	23,000	11,814	▲57.0%
民間	81,206	92,000	79,522	▲2.1%
合 計	169,436	175,000	132,842	▲21.6%

 OKUMURA CORPORATION

《主なポイント》

- ・ **土木は予想より185億円減少**
⇒ 入札案件の競争が激化
- ・ **建築は予想より237億円減少**
⇒ 民間需要の低迷による競争の激化
- ・ **4月以降現在までに内定している案件は、前年同時期を大幅に上回る**
⇒ 東日本大震災の影響等による契約のずれ込み

 OKUMURA CORPORATION

連結業績予想の概要

(単位：百万円)

	23/3期	24/3期		
	実績	予想	前期比	中期5カ年計画
売上高	192,617	190,000	▲1.4%	259,800
営業利益	3,380	1,300	▲61.5%	5,600
経常利益	4,500	2,450	▲45.6%	6,700
当期純利益	3,604	2,500	▲30.6%	-

 OKUMURA CORPORATION

《主なポイント》

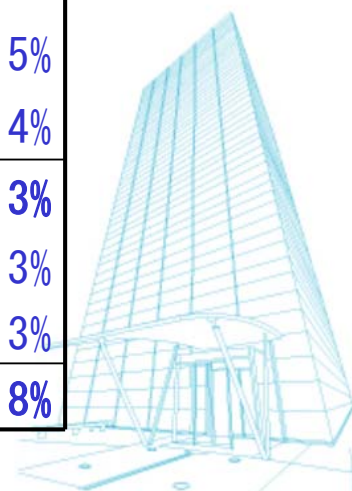
- ・現時点では、前期を下回る業績予想となっているが、今後の改善により前期を上回る水準の達成を目指す

 OKUMURA CORPORATION

<参考> 受注高予想（個別）

（単位：百万円）

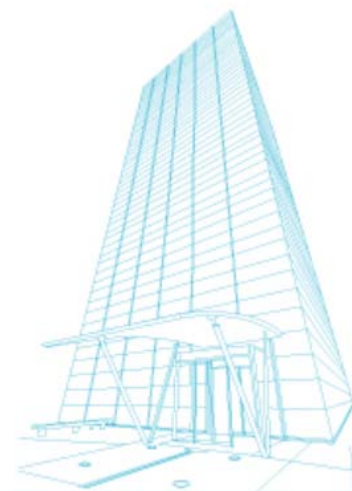
	23/3期	24/3期	
	実績	予想	前期比
土 木	41,505	65,000	56.6%
官公庁	25,720	49,000	90.5%
民間	15,784	16,000	1.4%
建 築	91,336	130,000	42.3%
官公庁	11,814	20,000	69.3%
民間	79,522	110,000	38.3%
合 計	132,842	195,000	46.8%



 OKUMURA CORPORATION

《主なポイント》

- ・ 厳しい受注環境ではあるが、営業力の強化等により、中期5ヵ年計画の施策を確実に実行する



 OKUMURA CORPORATION

決算及び業績予想の詳細説明

管理本部経理部長 田中 敦史

 OKUMURA CORPORATION

平成23年3月期 決算説明会

連結決算の詳細

- ◇ 連結貸借対照表
 - ・ 資産、負債、純資産
 - ・ 個別貸借対照表との比較
- ◆ 連結損益計算書
 - ・ 売上高、売上総利益、一般管理費、営業外収支
特別損益、営業利益、経常利益、当期純利益
 - ・ 個別損益計算書との比較
- ◇ 連結キャッシュ・フロー計算書

 OKUMURA CORPORATION

◇連結貸借対照表

(単位：百万円)

	22/3期	23/3期	増減
	実績	実績	
流動資産	172,940	164,751	▲8,188
受手・完工未収等	63,092	84,612	21,520
販売用不動産	10,016	8,225	▲1,790
未成工事支出金	57,785	27,281	▲30,504
固定資産	68,818	65,019	▲3,799
有形固定資産	24,137	25,948	1,810
投資その他の資産	44,172	38,801	▲5,370
投資有価証券	42,749	37,702	▲5,047
資産合計	241,758	229,771	▲11,987

OKUMURA CORPORATION

《主な増減理由》

『受取手形・完成工事未収入金等』

- ・ 工事進行基準適用工事の増加に伴う債権の増加

『販売用不動産』

- ・ 太平不動産保有の販売用不動産1件（11億円）を売却
- ・ 契約解除に伴う解約金（8億円）を販売用不動産に戻入

『未成工事支出金』

- ・ 受注高の減少や工事進行基準適用工事の増加によって、次期繰越工事高が減少

『有形固定資産』

- ・ 収益物件を21億円で購入したこと等による増加

『投資有価証券』

- ・ 評価損の計上 ▲ 7億円
- ・ 前期末より含み益減少 ▲44億円（160億円⇒116億円）

OKUMURA CORPORATION

《連結貸借対照表続き》

(単位：百万円)

	22/3期	23/3期	増減
	実績	実績	
流動負債	111,477	103,541	▲7,936
未成工事受入金	40,796	25,928	▲14,867
工事損失引当金	5,751	4,271	▲1,480
固定負債	14,812	11,843	▲2,969
負債合計	126,290	115,384	▲10,906
純資産	115,468	114,387	▲1,081
負債純資産合計	241,758	229,771	▲11,987

《主な増減理由》

『未成工事受入金』

- ・ 次期繰越工事高の減少

『工事損失引当金』

- ・ 土 木 ⇒ 1,445百万円減少 (4,358百万円⇒2,913百万円)
 工事完成によるもの ▲2,057百万円
 引当不足によるもの + 611百万円
- ・ 建 築 ⇒ 34百万円減少 (1,392百万円⇒1,358百万円)
 工事完成によるもの ▲ 137百万円
 引当不足によるもの + 103百万円

《個別貸借対照表との比較》

(単位：百万円)

	23/3期		差額		23/3期		差額
	連結	個別			連結	個別	
流動資産	164,751	162,084	2,667	流動負債	103,541	101,501	2,039
販売用不動産	8,225	2,630	5,595				
その他流動資産	8,633	15,924	▲7,290				
固定資産	65,019	62,818	2,201	固定負債	11,843	11,214	629
有形固定資産	25,948	20,147	5,800	負ののれん	567	—	567
無形固定資産	269	265	3				
投資その他の資産	38,801	42,405	▲3,603	負債合計	115,384	112,715	2,668
長期貸付金	1,086	4,891	▲3,804	純資産	114,387	112,187	2,199
資産合計	229,771	224,902	4,868	負債純資産合計	229,771	224,902	4,868

※上記個別の科目は、連結の開示科目ベースで組替えている。

《主な増減理由》

『販売用不動産』

- ・ 太平不動産保有の収益物件を連結決算で計上

『その他流動資産』

- ・ 連結修正によるもので、連結子会社への短期貸付金を消去

『有形固定資産』

- ・ 奥村機械製作の工場用地（3億円）及び太平不動産保有の収益物件2件（53億円）を連結決算で計上

『長期貸付金』

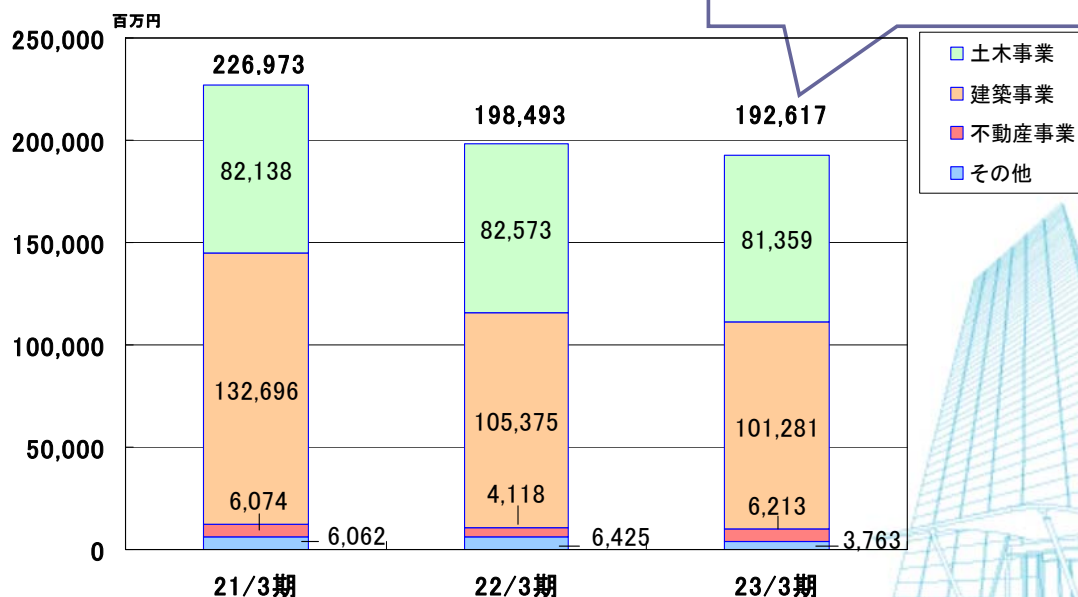
- ・ 連結修正によるもので、連結子会社への長期貸付金を消去

『負ののれん』

- ・ 連結修正によるもので、負ののれんの未償却額

◆連結損益計算書

～売上高～



《建設事業》
 完成工事高の前期比
 土木 ▲1,214百万円 (▲1.5%)
 建築 ▲4,093百万円 (▲3.9%)
 合計 ▲5,308百万円 (▲2.8%)

《売上高の主なポイント》

建設事業

- ・ 工事進行基準適用工事の売上高
土木 35,314百万円、建築 79,648百万円、合計 114,962百万円
- ・ 売上高のうち工事進行基準適用工事の割合
土木 43.4% (22/3期 17.2%)
建築 78.6% (22/3期 27.4%)
計 62.9% (22/3期 22.9%)

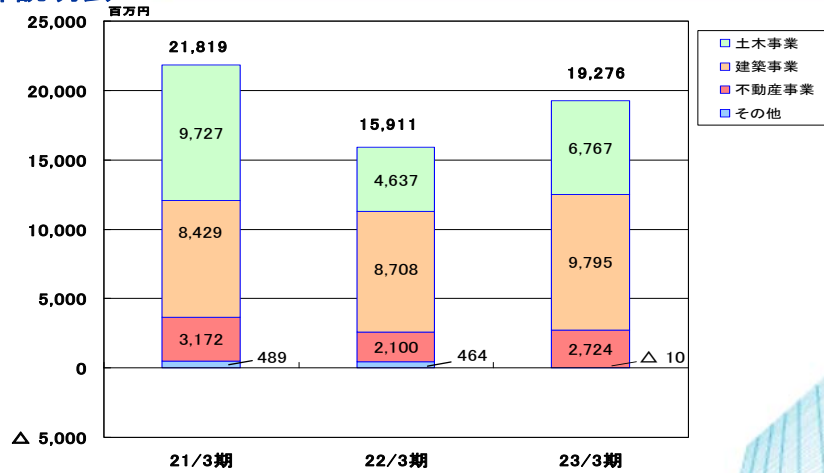
不動産事業

・ 売上高内訳

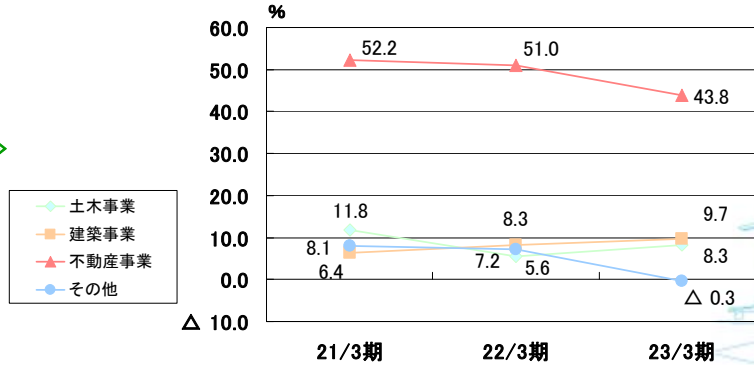
	22/3期	23/3期	増減
販売	1,254百万円	2,862百万円	1,608百万円
賃貸他	2,864百万円	3,350百万円	486百万円
計	4,118百万円	6,213百万円	2,094百万円

～売上総利益～

《売上総利益額》



《売上総利益率》



《売上総利益の主なポイント》

建設事業

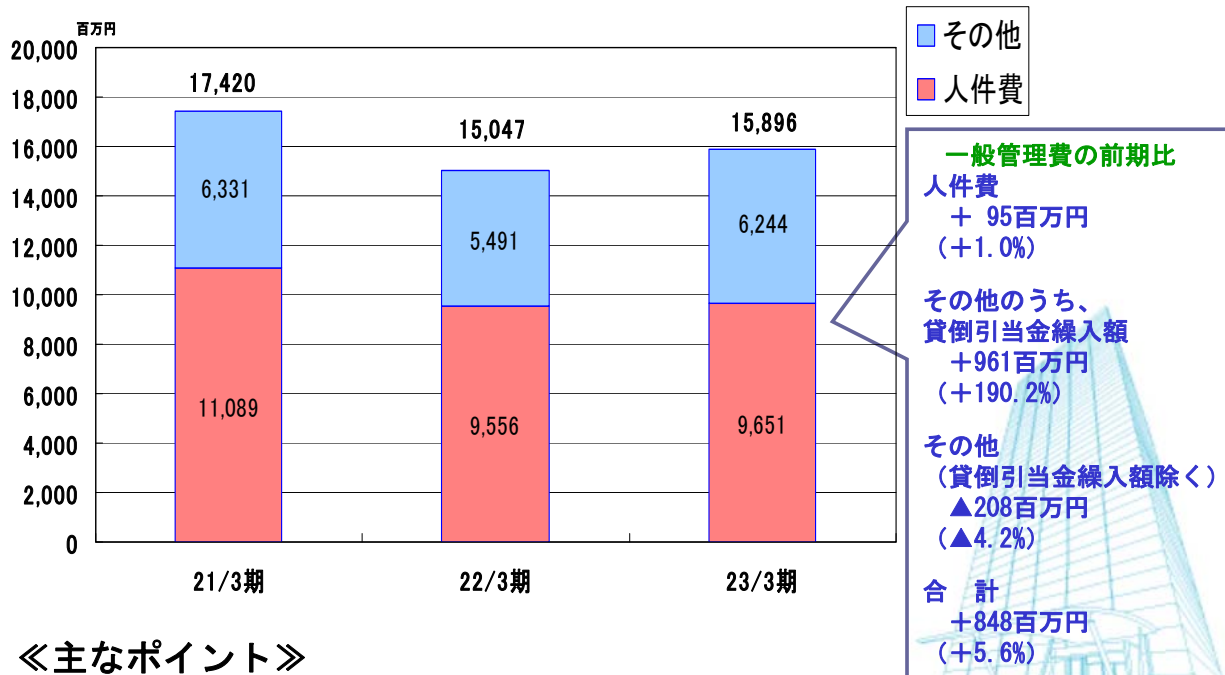
- ・ 土木は、大型の高採算工事が減少したものの、多額の工事損失引当金の積み増し等もなく、全般的に工事損益が改善したこと等により、売上総利益率が2.7ポイント改善
- ・ 建築は、選別受注の徹底に伴って、低採算工事が減少し、全般的に工事損益が改善したこと等により、売上総利益率が1.4ポイント改善

不動産事業

- ・ 売上総利益の内訳

	22/3期	23/3期	増減
販売	8百万円 (0.7%)	338百万円 (11.8%)	330百万円
賃貸他	2,092百万円 (73.1%)	2,385百万円 (71.2%)	293百万円
計	2,100百万円 (51.0%)	2,724百万円 (43.8%)	623百万円

～一般管理費～



《主なポイント》

- ・ 一般管理費増加の主な要因は、保守的に貸倒引当金を見直したこと

～営業外収支～

(単位：百万円)

	21/3期	22/3期	23/3期	
	実績	実績	実績	増減
営業外収益	1,961	1,660	1,437	▲222
受取利息配当金	1,519	956	951	▲4
為替差益	—	138	—	▲138
営業外費用	454	286	317	30
支払利息	192	197	192	▲4
為替差損	129	—	65	65
営業外収支	1,507	1,373	1,119	▲253
金融収支	1,327	759	758	▲0

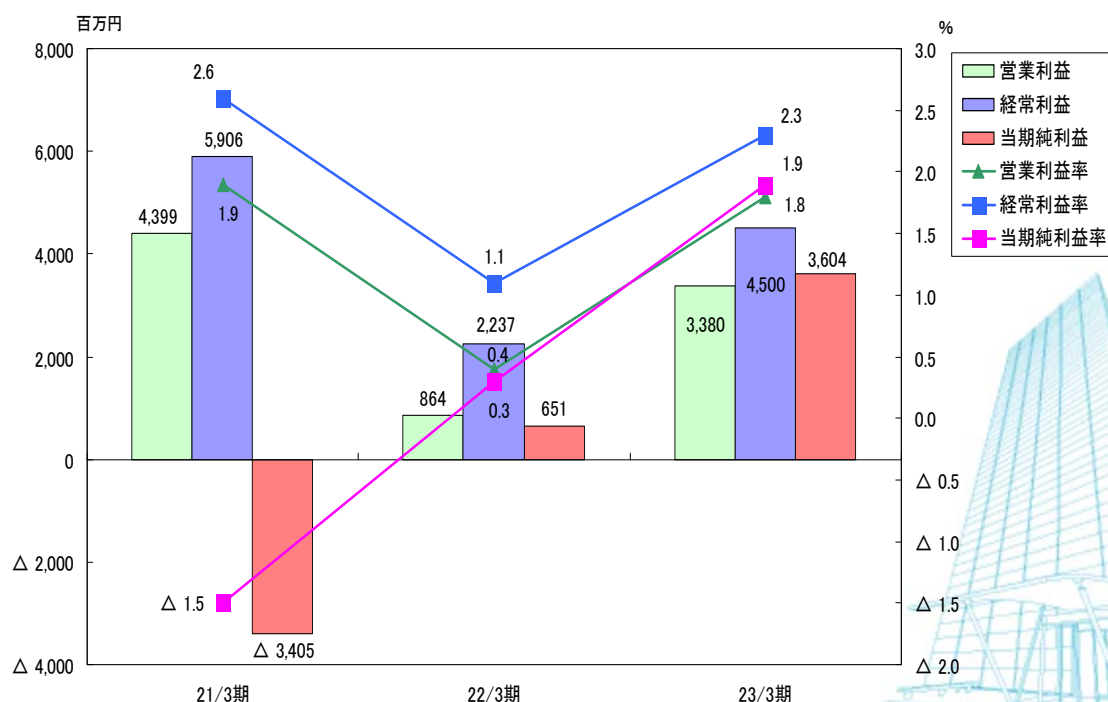
※22/3期の為替差益は営業外収益その他に含まれている。

～特別損益～

(単位：百万円)

	21/3期	22/3期	23/3期	
	実績	実績	実績	増減
特別利益	1,927	1,731	223	▲1,507
固定資産売却益	431	961	0	▲960
投資有価証券売却益	685	435	43	▲391
特別損失	11,023	3,220	1,003	▲2,216
退職特別加算金	4,152	—	—	—
開発事業の契約解除等による損失	3,274	—	—	—
火災事故に関する損失	—	1,353	—	▲1,353
貸倒引当金繰入額	—	1,022	—	▲1,022
投資有価証券評価損	2,729	167	701	533
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	—	111	111

～営業利益、経常利益及び当期純利益～



《個別損益計算書
との比較》

	23/3期				
	連結		個別		差額
売上高	192,617	100%	187,969	100%	4,647
建設事業	182,640		182,640		—
不動産事業等	9,976		5,328		4,647
売上総利益	19,276	10.0%	18,668	9.9%	608
建設事業	16,562	9.1%	16,567	9.1%	▲4
不動産事業等	2,713	27.2%	2,100	39.4%	613
一般管理費	15,896	8.2%	15,485	8.2%	411
営業利益	3,380	1.8%	3,183	1.7%	197
営業外収益	1,437	0.7%	1,372	0.7%	64
営業外費用	317	0.2%	251	0.1%	65
経常利益	4,500	2.3%	4,304	2.3%	195
特別利益	223	0.1%	211	0.1%	11
特別損失	1,003	0.5%	811	0.4%	192
税金等調整前当期純利益	3,719	1.9%	3,704	2.0%	14
法人税等	114	0.0	111	0.1%	3
当期純利益	3,604	1.9%	3,593	1.9%	11

《主な増減理由》

『売上高・売上総利益・営業利益・経常利益・当期純利益』

	奥村機械製作	太平不動産
・売上高	3,698百万円	2,103百万円
・売上総利益	▲57百万円	607百万円
・営業利益	▲399百万円	538百万円
・経常利益	▲477百万円	356百万円
・当期純利益	▲609百万円	317百万円

◇連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	21/3期	22/3期	23/3期	
	実績	実績	実績	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,943	▲5,016	8,495	13,511
投資活動によるキャッシュ・フロー	7,889	3,123	▲733	▲3,857
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲3,339	▲1,077	▲809	268
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲127	▲10	▲63	▲53
増減額	9,365	▲2,979	6,889	9,869
現金及び現金同等物の期首残高	21,445	30,811	27,831	▲2,979
現金及び現金同等物の 当期末残高	30,811	27,831	34,720	6,889

 OKUMURA CORPORATION

《主なポイント》

- ・ 営業活動によるキャッシュ・フローは、手持工事の減少による支出の大幅減少
- ・ 投資活動によるキャッシュ・フローは、収益不動産の購入等による支出の増加

 OKUMURA CORPORATION

◇主な完成工事



《台北地下鉄新莊線CK570G工事》 台湾 台北市

OKUMURA CORPORATION

◇主な完成工事



《総合病院国保旭中央病院 新本館建築工事》 千葉県旭市

OKUMURA CORPORATION

連結業績予想の詳細

◇24/3期 連結業績予想

(単位：百万円)

	23/3期		24/3期		
	実績		予想		増減
売上高	192,617	100%	190,000	100%	▲2,617
土 木	81,359		64,000		▲17,359
建 築	101,281		110,500		9,219
建設事業計	182,640		174,500		▲8,140
不動産事業等	9,976		15,500		5,524
売上総利益	19,276	10.0%	15,800	8.3%	▲3,476
土 木	6,767	8.3%	4,650	7.3%	▲2,117
建 築	9,795	9.7%	8,050	7.3%	▲1,745
建設事業計	16,562	9.1%	12,700	7.3%	▲3,862
不動産事業等	2,713	27.2%	3,100	20.0%	387
一般管理費	15,896	8.2%	14,500	7.6%	▲1,396
営業利益	3,380	1.8%	1,300	0.7%	▲2,080

《建設事業》

工事進行基準適用工事の売上高
 土木 50,200百万円
 建築 96,500百万円
 合計 146,700百万円
 工事進行基準適用工事の割合
 62.9% (23/3期) ⇒84.1%見込

《不動産事業等》

(単位：百万円)

	売上高	売上総利益
販 売	6,700	300 (4.5%)
賃貸他	3,250	2,400 (73.8%)
計	9,950	2,700 (27.1%)
その他	5,550	400 (7.2%)
計	15,500	3,100 (20.0%)

《一般管理費》

(単位：百万円)

	23/3	24/3	増減
人件費	9,651	9,200	▲451
貸倒引当金繰入額	1,467	500	▲967

《24/3期 連結業績予想続き》

(単位：百万円)

	23/3期		24/3期		
	実績		予想		増減
営業外収益	1,437	0.7%	1,350	0.7%	▲87
営業外費用	317	0.2%	200	0.1%	▲117
経常利益	4,500	2.3%	2,450	1.3%	▲2,050
特別利益	223	0.1%	200	0.1%	▲23
特別損失	1,003	0.5%	50	0.0%	▲953
税金等調整前当期純利益	3,719	1.9%	2,600	1.4%	▲1,119
法人税等	114	0.0%	100	0.1%	▲14
当期純利益	3,604	1.9%	2,500	1.3%	▲1,104

《営業外収支》

・ほぼ前期並みで見込む

《特別損失》

・前年に計上した投資有価証券評価損等は見込んでいない

《個別業績予想
との比較》

	24/3期				差額
	連結		個別		
売上高	190,000	100%	180,000	100%	10,000
建設事業	174,500		174,500		—
不動産事業等	15,500		5,500		10,000
売上総利益	15,800	8.3%	15,100	8.4%	700
建設事業	12,700	7.3%	12,700	7.3%	—
不動産事業等	3,100	20.0%	2,400	43.6%	700
一般管理費	14,500	7.6%	14,100	7.8%	400
営業利益	1,300	0.7%	1,000	0.6%	300
営業外収益	1,350	0.7%	1,150	0.6%	200
営業外費用	200	0.1%	200	0.1%	—
経常利益	2,450	1.3%	1,950	1.1%	500
特別利益	200	0.1%	200	0.1%	—
特別損失	50	0.0%	50	0.0%	—
税金等調整前当期純利益	2,600	1.4%	2,100	1.2%	500
法人税等	100	0.1%	100	0.1%	—
当期純利益	2,500	1.3%	2,000	1.1%	500

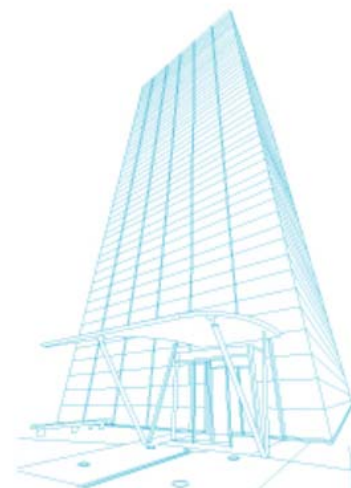
《主な差額理由》

『売上高』

- ・ 連結子会社の太平不動産が保有する賃貸マンションの売却等により、例年より個別と連結で大きな差異が生じている

『一般管理費』 『営業外収支』 『特別損益』

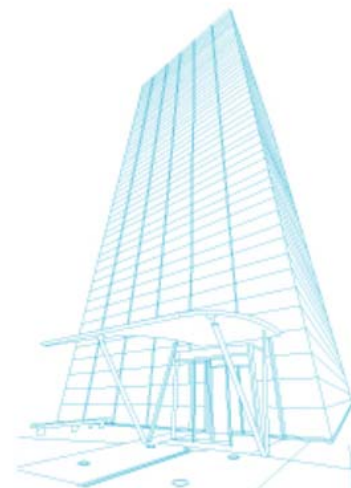
- ・ 例年通りで大きな差異はない



◇23/9期 連結業績予想

(単位：百万円)

	22/9期		23/9期		
	実績		予想		増減
売上高	66,230	100%	89,700	100%	23,470
土 木	23,351		29,000		5,649
建 築	39,388		51,000		11,612
建設事業計	62,740		80,000		17,260
不動産事業等	3,489		9,700		6,211
売上総利益	7,594	11.5%	7,100	7.9%	▲494
土 木	1,833	7.9%	1,900	6.6%	67
建 築	4,312	10.9%	3,500	6.9%	▲812
建設事業計	6,145	9.8%	5,400	6.8%	▲745
不動産事業等	1,449	41.5%	1,700	17.5%	251
一般管理費	7,022	10.6%	7,100	7.9%	78
営業利益	572	0.9%	0	0.0%	▲572

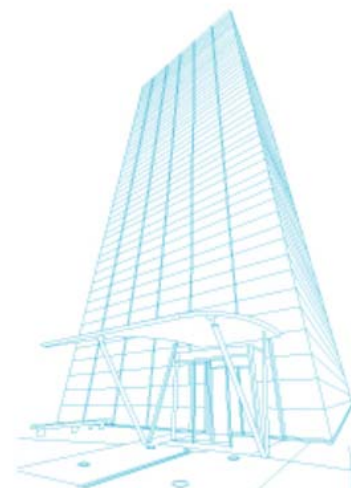


OKUMURA CORPORATION

《23/9期 連結業績予想続き》

(単位：百万円)

	22/9期		23/9期		
	実績		予想		増減
営業外収益	921	1.4%	750	0.8%	▲171
営業外費用	133	0.2%	100	0.1%	▲33
経常利益	1,360	2.1%	650	0.7%	▲710
特別利益	408	0.6%	100	0.1%	▲308
特別損失	879	1.3%	50	0.0%	▲829
税金等調整前 四半期純利益	890	1.4%	700	0.8%	▲190
法人税等	59	0.1%	50	0.1%	▲9
四半期純利益	830	1.3%	650	0.7%	▲180



OKUMURA CORPORATION

《個別業績予想
との比較》

	23/9期				差額
	連結		個別		
売上高	89,700	100%	82,700	100%	7,000
建設事業	80,000		80,000		—
不動産事業等	9,700		2,700		7,000
売上総利益	7,100	7.9%	6,600	8.0%	500
建設事業	5,400	6.8%	5,400	6.8%	—
不動産事業等	1,700	17.5%	1,200	44.4%	500
一般管理費	7,100	7.9%	6,900	8.4%	200
営業利益	0	0.0%	▲300	▲0.4%	300
営業外収益	750	0.8%	700	0.9%	50
営業外費用	100	0.1%	100	0.1%	—
経常利益	650	0.7%	300	0.4%	350
特別利益	100	0.1%	100	0.1%	—
特別損失	50	0.0%	50	0.1%	—
税金等調整前四半期純利益	700	0.8%	350	0.4%	350
法人税等	50	0.1%	50	0.0%	—
四半期純利益	650	0.7%	300	0.4%	350



平成23年3月期 決算説明会

～ END ～

人と自然を、技術でむすぶ。

奥村組

OKUMURA CORPORATION

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。